

1 こども会議の概要

実施期間	令和6年6月20日～令和6年9月12日
実施方法	グループごとに対面での聴き取り
参加者	17グループ・225人(小学生～大学生)

聴き取り テーマ	「子どもの権利が守られていないと思うこと、嫌だったこと」
意見数	337件

意見での出現回数に応じた大きさを単語を图示しています。

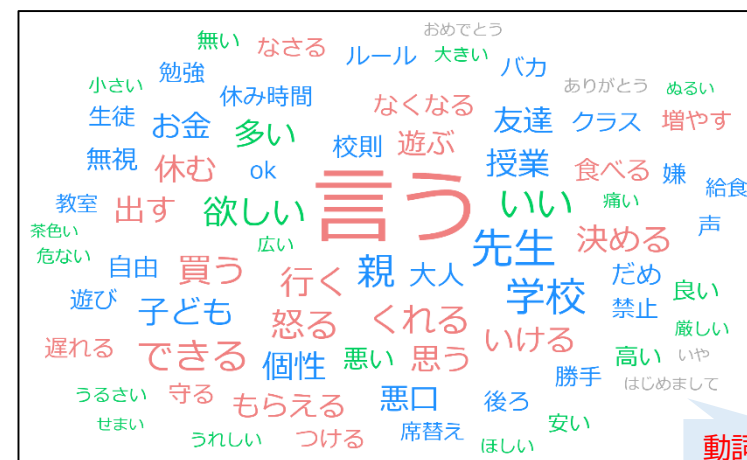
2 子どもの意見における頻出単語(名詞)

(その単語と合わせて使われていた単語)

先生	27件	言う、学校、生徒、親、悪い、注意等
学校	23件	先生、言う、行く、スポーツ、欲しい等
親	19件	言う、買う、くれる、行く、部屋、先生等
授業	10件	いい、休み時間、なくなる、学校等
個性	9件	守る、尊重、教える、校則、消す等
子ども	9件	大人、決める、音楽、多い等

3 子どもの意見の特徴(全体イメージ)

※AIテキストマイニングによる分析



動詞(赤)
名詞(青)
形容詞(緑)

4 主な意見

(先生について)

- 先生の機嫌が良い時と悪い時で人に接する態度が違う。
- 先生が授業に遅れるのはいいけど、生徒はだめ。
- 先生によって対応が異なる。

(学校について)

- 学校を休んだため、授業の残りがあって休み時間がなくなった。
- 学校の下校時間が厳しい。
- 先生に学校に来たらと言われるから強制させられているみたい

(親について)

- 今後の勉強のことで親に怒鳴られた。
- 親が部屋をノックせずに入ってくる。
- 親の考えを押し付けられる。自由に考えてみたい。

(校則について)

- 今どきツブロックが校則でだめ。
- 個性を消すような校則を守らせている。
- メイクとか校則で禁止されているけど、社会に出たらして当たり前。